



2014年 京町家アーティスト・イン・レジデンスより@ANEWAL Gallery

京町家アーティスト・イン・レジデンス 2015

2011年にオランダと日本のより深い文化交流を目的にスタートした京町家アーティスト・イン・レジデンス（京町家AIR）。「地域に何を提供できるのか」をテーマに、これまで油画、建築、グラフィックデザインなど様々な分野から9名のオランダ人アーティストを公募により選出し、文化交流の可能性を探ってきました。

まったく異なる経験、興味、価値観を持つ海外のアーティストは、地域コミュニティに日常とは少し違った物語を紡ぎ出します。その物語は、時には気付いていなかった問題を語ることで対話の機会を作り出し、また時には誰も知らない文化の一面を描き出すことで、国を越えてその魅力を伝えていきます。

今年度の京町家AIRでは、9月から12月にかけて2組のアーティストが京都・上京区の京町家で制作を始めます。地域の皆様とのワークショップや成果発表展といった目に見える取り組みに加え、地域でアーティストが話し、学び、作ることで、観光を越えたお互いの文化理解を育むと考えています。

アーティスト滞在期間:

9/25~12/16

成果発表展:

12/4~6 (予定)

共催: 日本文化センター(JCC)
公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery

後援: オランダ王国大使館、在大阪・神戸オランダ総領事館

レジデンス: ANEWAL Gallery、米田邸

お問い合わせ

NPO法人 ANEWAL Gallery

〒602-0059 京都市上京区実相院町156

MAIL: contact@anewal.net

TEL: 075-431-6469

FAX: 075-950-3240



kmair.anewal.net

参加アーティスト

Jikke van Loon

ジッケ・ファン・ローン

造形・ドローイング・ビジュアルアート

1971年にオランダのデン・ハーグに生まれる。人間の身体や精神の捉え方をテーマとして彫刻、ドローイングやインスタレーションアートを扱った作品を創作するビジュアルアーティスト。近年は、日本の「侘び寂びにみられる繊細さと不完全さ」に興味を持ち、自らの作品へと取り入れる。

jikkevanloon.com



Iteke and Tjitske Hemkes

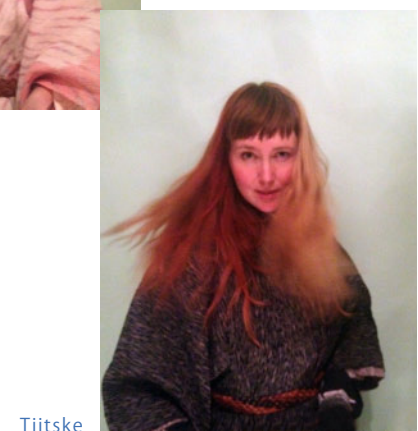
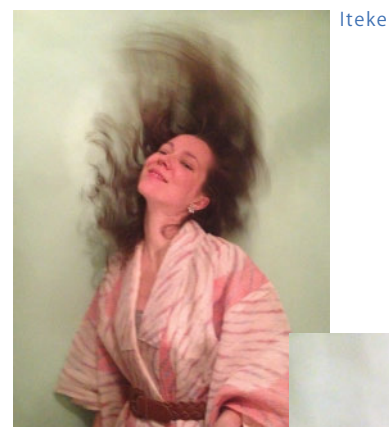
イテケとチツケ・ヘムケス

デザイン・ファッション・映像・パフォーマンス

イテケ(1984)とチツケ・ヘムケス(1980)はアーティストの姉妹。イテケはハーグで王立芸術アカデミーでファッションとテキスタイル、グラフィックデザインを専攻、二つの学士課程を卒業。現在はイラスト、映像やパフォーマンスといった分野で活躍している。チツケはアイントホーヴェンのデザイン・アカデミーを卒業して、現在アムステルダムでフリーランスデザイナーをしている。映像やファッション、パフォーマンスから商品デザインにいたるまで、アートとデザインの間にある作品を制作する。

<Iteke> itekehemkes.com

<Tjitske> tjitskehemkes.com/index.html



作品

Jikke van Loon



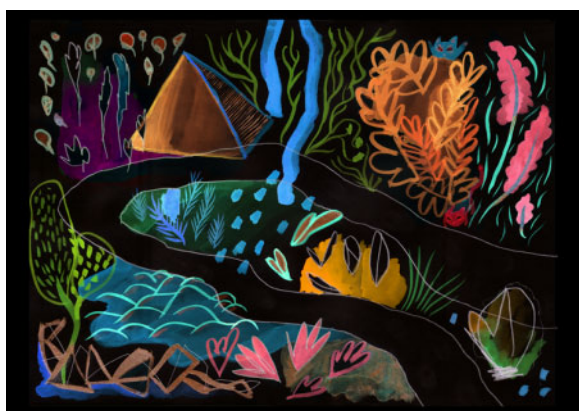
「The Full Solution Part 1」 (2014)

「世界にあるものの形についてその意味の問いかけをして、その解決を図る」
蝋のオブジェで制作されたインスタレーション作品の試み。

「Named or not named, Known or unknown」 (2012)

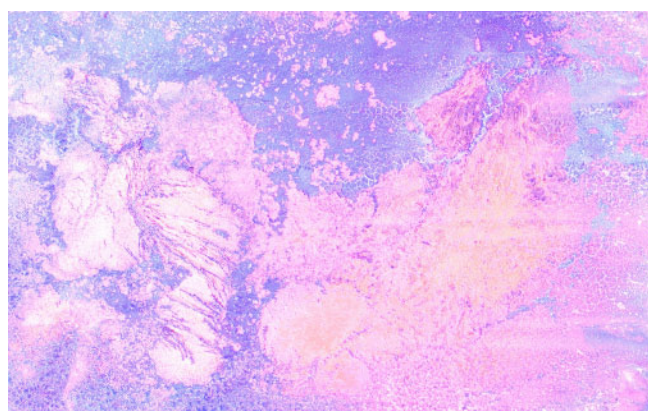
親と兄弟のことをまだ知らずに亡くなった子どもたちのために作曲した。
また、子どもが埋葬された場所でその曲を奏でるカリヨンを制作した。

Iteke and Tjitske Hemkes



「NowHere」 Iteke Hemkes

「NowHere」は「迷う」をテーマにした子ども向けの絵本のイラストシリーズ。ものを知ることよりも、知らないままであれば、色々な発見ができるというメッセージが含まれている。



「Olla Vogala」 Tjitske Hemkes

この柄のパターンのシリーズは菌の成長や大理石の形成などの様々な自然の過程を基に制作された。制作のプロセスでは、「人為的な操作」や「最終の結果」を考えずに、自然の成り行きをそのまま肯定することを大切にしたい。
この技法はどんな生地やものにも転用できる。

レジデンス

ANEWAL Gallery

「外に出るギャラリー」をコンセプトに地域社会における芸術・デザイン・文化活動のプロデュースを通じて、地域社会に眠る資源の発掘と新たな価値の創出を行い、地域の振興と発展に寄与する為の活動をしている。

また、拠点となるANEWAL Gallery内では、築130年以上になる京町家の空間・歴史的特性を活かした様々な企画を多数仕掛けている。



gallery.anewal.net

米田邸

2000年、米田工務店の4代目が建てられた京町家を6代目、7代目米田氏が再生工事に着工し、古き京町家の良さを残しつつも新しく生まれ変わった。

米田氏はこの場所を、アーティスト・イン・レジデンスなどで海外から訪れる作家が滞在する場所としても積極的に提供している。

